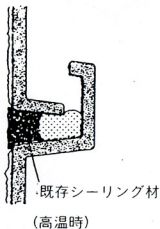
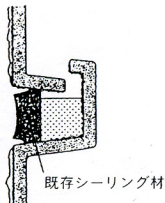


■アルミニウム鋳物カーテンウォールの目地

故障の状態

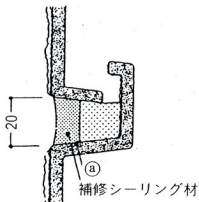


(高温時)



(低温時)

補修

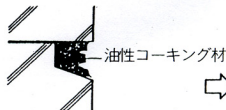


施工……①部の下地が露出するまでサンディングして塗膜を除去し、シーリング材を充てんした。

故障の原因……(1) 塗膜が清掃溶剤やプライマー中の溶剤で膨潤軟化し塗膜の剥離が生じた。
(2) ムーブメントによるシーリング材の変形や接着破壊が生じた。
補修……上記の(1)(2)を考慮し、耐久性に優れたシーリング材を用いた。

■RC壁の打継ぎ

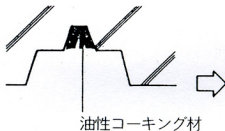
故障の状態



故障の原因……油性コーキング材の硬質化(劣化)によるひび割れ。
補修……耐候性および接着性の良い補修シーリング材を再充てんする。

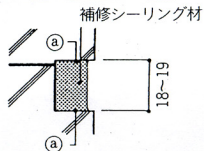
■RC壁の誘発目地

故障の状態



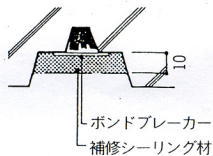
故障の原因……油性コーキング材の硬質化(劣化)によるひび割れ。
補修……耐候性および接着性の良い補修シーリング材を充てんする。

補修



施工……油分の浸透したコンクリート①部を切断用カッターで除去し補修シーリング材を充てんした。

補修



施工……劣化した油性コーキング材はそのままにし、親目地を利用して新たに補修シーリング材を充てんした。